

関西社会福祉学会 日本社会福祉学会関西地域ブロック
「第 57 回若手研究者・院生情報交換会」報告書

赤城拓（京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程 2 年）

台風接近のために延期となった第 57 回若手研究者・院生情報交換会は 2025 年 2 月 24 日に同志社大学今出川キャンパスにて開催された。今回の交換会の目的は、「学会」という学問におけるコミュニティのあり方を考えることを通して、学問や研究のあり方について問い直すことであった。

第 1 部のミニ・シンポジウムでは、発題者として、空閑先生と伊藤先生のお二人からお話を頂き、指定発言者として、小野先生、姜先生、村田先生の三名による議論が行われた。

空閑先生からは、これまでの日本社会福祉学会の活動を振り返りながら、社会福祉学の定義、現場経験を踏まえた研究のあり方などについてお話をいただいた。

伊藤先生からは、これまでの学会運営を振り返りつつ、今後の学会のあり方や学会運営についてお話を下さった。その過程の中で全体でのグループディスカッションも行われ、社会福祉学以外の学問の立場の見解も含めた活発な意見交換が行われた。その意見交換の中では、社会福祉学における「価値」の位置付けや学会における査読体制についての意見などがあった。

その後、小野先生、姜先生、村田先生の三名による意見交換も行われ、今後の学会運営のあり方について積極的な議論が行われた。

本会全体を通して、学問や学会のあり方について、様々な視点から対話がなされ、私自身も非常に多くのことを勉強させて頂いた。そして、私自身の今後の研究活動においても、常に学問のあり方について再考し続けることの重要性を認識する良いきっかけとなった。